タイトル

きちょくれ仲町・大手前 ∞3150（令和サイコー）佐伯パンフェス

～ 繋ぐ繋げるプロジェクト ～

＜研究の目的＞

2年次に行ったワークショップでパン作りを体験して会話が弾んだのでパンは、人と人を繋げる力があると実感しました。また、昨年先輩が行ったカレープロジェクトで鵡川高校に義援金を寄付したことをきっかけに、私も人の役に立ちたいと思いました。そして、この二つを掛け合わせてパンフェスという、人と人とのコミュニケーションの場を作ろうと考えたからです。

＜研究の具体的な取り組みと成果＞

2018年9月6日
北海道胆振東部地震発生

先輩のKさんが「北海道復興支援カレープロジェクト」を立ち上げカレーを販売し、売上金の一部を鵡川高校に義援金として寄付したことから、交流が始まりました。

鵡川

☆鵡川高校 ☆鵡川町役場 ☆パン工房「夢風船」☆門別競馬場
☆穂別博物館 ☆アイヌ博物館 ☆ASUKAのチーズ工房
鵡川の方々と初対面！！
むかわ竜の絵本やバッヂをもらい、カポスをプレゼント！
鵡川高校や鵡川町の被災地を間近で見て、地震の恐ろしさを改めて実感しました。以前テレビで見たときは怖いなあと思っていただけでしも自分

食をツールに様々な人や町のみんなの心を繋げたい！

ない

パンフェスを開催しよう！！

市・パン屋・小、中学校への協力要請
なかなかパン屋の出店が決まらず、出店するメリットを多くした。
パンチャレンジコンテスト募集のため小・中学校に説明に行った。
パンフェス宣伝のために取材をたくさん受けた。
↑取材を受けたことでコミュニケーション力が身についた。
チラシを分かりやすくシンプルにすること！

来場者数約1000人！！ スタッフ総勢80名以上！！
人気のなかった仲町に昭和の頃の賑わいが戻った！！
情報科学高校や鵡川高校、市内のパン屋、佐伯ごまだしうどん大作戦の方々、城下堂の方々が参加してくれた。

今回のチラシはタイトルを書道の筆で書いた。
同じグループのSさんが書道のテーマだったので、書いてもらった。パンフェスで研究を繋げることができた。

～繋ぐ繋げるプロジェクト～ 「きちょくれ仲町・大手前∞3150佐伯パンフェス」大成功！！

＜感想・今後の課題＞

今回、パンフェスという大きなイベントを実行委員長として携わることができとてもいい経験になりました。

パンフェスを作るうえで、上手くいかなくて苦しい時もありました。でも、周りの友達や家族の支えもあって、やり遂げることができました。このパンフェスを通して、人と人を繋げることの大切さや、コミュニケーション力の大事さを学びました。高校生活の最後でパンフェスを企画し、いろんな経験を重ねたことで、自分自身もとても成長できたと思います。今回の売上金は、台風被害に見舞われた宮城県伊具高校に義援金として贈りました。

＜協力者＞佐伯市役所 佐伯青年会議所 PISCO 佐伯ごまだしうどん大作戦 鵡川高校 十和田バラ焼きゼミナール他